

平成 20 年度再評価対象事業一覧表

(事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)	備考
	<p>主要地方道 武雄多久線 地方道路交付金事業</p> <p>事業主体：県 事業地：多久市多久町</p>	<p>主要地方道武雄多久線は、国道34号と多久ICにアクセスする国道203号を連結する路線である。 当該箇所を整備することにより、本地域における物流及び交流の活性化に寄与するとともに、当路線の唯一の未整備区間の解消により沿線住民の安全性確保にも寄与するものである。 現道は、幅員が狭く、線形も悪く、歩道も狭く一部無いことから、バイパス及び自転車歩行者道を整備することにより交通の円滑化と交通安全の確保を図る。</p>	<p>全体事業費：8.5億円 工期：H11～H22</p> <p>事業内容 延長 L=1,000m 幅員 W=15.0(6.5)m</p> <p>改良工 L=988m 橋梁工 1橋(L=12m) 舗装工 L=1,000m 測試 1式 用地補償 1式</p>	<p>H19末進捗率：約73% (事業費ベース) (年平均進捗率 8%)</p> <p>用地補償は9割完了</p>	<p>交通量の増減 [H6] 7,447台/日 [H9] 8,727台/日 [H11] 8,809台/日 [H17] 8,515台/日 歩行者 99人/日 自転車 89台/日</p> <p>多久駅前土地区画整理事業が行われることにより、交通量の増大が予想される。</p>	<p>事業採択時と比較して、要因の大きな変化は見られない。 B / C = 8 . 5</p>	<p>(コスト削減) ・再生資源の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。</p> <p>(代替案の検討) ・特になし</p>	<p>事業着手より10年が経過</p>	<p>継続 (理由) バイパスであり事業効果が発揮出来ておらず、危険な状況が解消されていないため、事業を継続し交通の円滑化を図る。</p>	

